

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成29年7月30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒610-0380 京都府京田辺市甘南備台1丁目1-3	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社椿本チエイン 京田辺工場 取締役上席執行役員京田辺工場長 古世 憲二

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	株式会社椿本チエイン 京田辺ユニット 環境マネジメントマニュアル (ISO14001)
適 用 範 囲	株式会社椿本チエイン京田辺工場ほか4箇所
導 入 年 月 日	2003年 9月26日
認 証 番 号	JQA-EM3392
基 本 方 針	地球環境の保全を経営の最重要課題の一つと位置づけ、 事業活動において以下の方針により自主的に 環境管理活動に取り組む 1. 汚染の予防と環境マネジメントシステムの継続的な改善を図る 2. 関連する法規制・協定および顧客要求等を順守する 3. 当ユニットに働く全ての人々が環境方針の理解を深めると共に、 環境保全の重要性を自覚して、その維持・向上に努める 4. 下記項目を重点テーマにあげ、目的・目標を定めて環境負荷低減に継続的に取 組みます。 (1)CO2排出量の削減 (2)エコ商品の拡大 (3)省資源・再資源化活動
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための 目標（以下「目標」という。）	CO2排出量の削減（2020年度に2005年度比15%削減） 再資源化・省資源化(98%以上) エコ商品の拡大 環境保全
目標を達成するための取組の内容	添付 環境方針 環境目標 環境目的長期計画書  参照
目標を達成するための取組の進捗状況	・インバーター式コンプレッサーの導入 ・油圧式射出成形機を電動式サーボモーター式へ更新 ・省エネ照明への切替
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対 する評価	エネルギー原単位前年度比(98.6%)達成。生産金額(99.2%)と少 し下降するも、エネルギー使用量(96.4%)がそれをうわまわる削 減量となり良い結果となった。引続き省エネ活動を推進してい く。
事業活動に係る法令の遵守の状況	添付（経営層による見直しチェックリスト）により、 事業活動を見直している
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	原則環境管理委員会を3ヶ月に1回、環境マネジメントレ ビューを年1回実施し、環境目標の進捗フォロー、検証及び 次年度の環境目標の審議を行っている。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。